C:\Users\zenrin\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\OYLOII2Q\MC900228485[1].wmf園長だより　平成３１年３月号（20190316）

園長　平澤　正則

卒園式に思う

　３日前，石岡中学校の卒業式に出席した折に一番感心したことです。私は最前列の主賓の隣に座っていたので，その光景が良く見えたのです。卒業生は主賓の前約２ｍで立ち止まり，深くお辞儀をするのですが，その生徒（仮にＡ君）はそれを思い出せず，それでも本人も何か忘れているなという表情を見せながら３ｍ程通り過ぎました。本人が何か変だぞと感じていたその表情を察した近くの生徒数人がひそひそと声を発すると同時くらいにＡ君は気付いたのでした。と同時に，Ａ君は慌てたように，恥ずかしそうに，それでも素早く小走りにお辞儀の位置に戻り，すみませんと小さな声を発しながら申し訳なさそうに頭を深々と下げたのでした。そしてわずかに表情に狼狽の痕を残しながらも何事もなかったかを装いながら去って行きました。その間わずか５，６秒くらいでしたでしょうか。 非常な緊張の中，すべて決められた手順どおりに進めなくてはならない思いに置かれている卒業生たちにとって，少しのミスもしたくない，見せられない状況でのことです。ともすると，そのまま立ち去ることが多くあると思います。実際，２１４人の内３，４人は忘れに気付いたかのような表情を見せながらも後戻りはできませんでした。ああいう状況ではそれを咎めようも思いません。私は，Ａ君の咄嗟の勇気ある判断に感心し，後で声をかけ労いたい気持ちをもちました。それも叶わず終いでしたが，黙ってもいられずここにお伝えしたいと思いました。人は失敗するものです。その時どう行動するかは普段の生き方に左右されると思います。Ａ君の咄嗟の動きは，普段の彼の誠実さを感じさせるに十分で，微笑ましいものでした。

　さて，本日は我が園の卒園式。と言っても，これを書いている今は前日の午後です。明日，本園の卒園生１３人はもとより，在園生も緊張の式を迎えますが，堂々と教えたとおりに，あるいはそれ以上に賢く，凛々しく式に臨めるか，楽しみです。結論を先にいますと，教えたとおりできなかったとしても大したことではありません。人間は一つ一つ成功したり（思いどおりに事が運んだり）失敗したり（思いどおりに事が運ばなかったり）の繰り返しの中でしか成長できないように感じます。ですから失敗は大いに結構と考えます。失敗を恐れることなどないのです。ただ，卒園生の式中の所作は一つ一つ注目の的ですから，良くできた際にはそれはあとでよく褒めてあげてください。本人が悔やむ結果になったとしても励ましてくだされば良いことです。そういう機会にしてほしいとは思います。今までの練習を見ていると，卒園生も在園生も一生懸命に取り組んでいますので，私は在園生には修了式の中で褒めたいと思います。

　卒園生の保護者の皆様にはここまでの年月，本園の教育・保育に対するご協力・ご援助の数々，誠にありがとうございました。喜びを共に分かち合えるそういう園であるよう，ますます努力していきたいと考えています。